

特集

国の「経済危機対策」として 地域活性化臨時交付金が創設されました

～ 和寒町での取り組みと概要について ～

100年に一度と言われる世界同時不況に対応し、国は経済危機対策として「緊急的な対策」や「安心と活力の実現」等に向けた施策を講じました。本町では、町の状況に応じた活性化策を推進するよう具体的事業について検討をした結果、環境への対応や健康・子育て、地域活性化等に重点を置き、措置された補助制度を活用するとともに、地方公共団体への配慮として創設された「地域活性化臨時交付金」により実施することとしました。この交付金は各市町村が将来に向けた地域の实情に応じるきめ細かな事業を積極的に実施できるよう「地球温暖化対策」「少子高齢化社会への対応」「安全・安心の実現」「その他」の4本の柱において実施されるもので、その臨時交付金の193,122千円を含めた関連補正予算について、7月17日に開催された町議会臨時会において議決となりましたので、その取り組みと概要についてお知らせします。

■地域活性化臨時交付金事業

計画事業費：187,071千円

1. 地球温暖化対策

☆太陽光発電検証事業 太陽光発電のデータ収集とその効果を検証する。

2. 少子高齢化社会への対応

- ☆公共施設安心トイレ設置事業 公共施設のトイレ便器を温水洗浄便座（25箇所）に改修
- ☆子育て応援特別手当 国の事業：平成21年10月1日を基準として、3歳～5歳の児童1人につき36千円を支給
町独自策：平成21年10月1日を基準として、0歳～2歳の幼児1人につき36千円を支給
- ☆女性特有のがん検診推進事業 国の女性特有のがん検診推進事業のほか、
町独自策：節目年齢以外に該当する20歳以上の女性に対し子宮頸がん及び乳がん検診受診者の検診料を無料化
- ☆子育て支援センター改修事業 子育て支援センターの設置に伴う旧生きがいセンターの改修費用

3. 安心・安全の実現

- ☆避難所施設改修事業 東町地域センター外壁補修工事
- ☆不良排水路改修事業 不良排水路整備改修工事(21線2号から北L=234m 13線日ノ出2号北L=90m)
- ☆橋梁点検事業 町管理の道路橋梁106箇所の修繕・架け替えが必要な箇所を診断し、長寿命化計画策定のための調査点検を実施
- ☆町道歩道バリアフリー化整備事業 町道2号道路路面改修工事（道道鷹栖線からL=160m）
- ☆河川護岸改修事業 ペンケ支流川護岸改修測量設計委託（北原7線6号）
ペンケ支流川護岸改修工事 L=116m
- ☆消火栓更新事業 市街地消火栓 6基更新・1基移設
- ☆消防指令車更新事業 消防指令車1台更新
- ☆小学校外構整備事業 校舎裏通路路盤整備 L=30m オープンスペース 967㎡
- ☆総合運動公園整備事業 総合体育館とテニスコート間の法面改修
総合体育館西側の排水路溝改修 L=60m

4. その他

- ☆地上デジタル放送対応整備事業 福原・大成地区のテレビ共同受信施設調査設計及び改修工事
地上デジタル放送受信機器整備（公共施設）
- ☆パーク粉碎施設重機更新事業 ホイルローダー 1台更新
- ☆町道整備事業 菊野中央道路路面改修工事 L=1,520m
- ☆公園遊具整備 三笠山公園遊具整備 ゴーカー 1台更新・バッテリーカー 3台更新・ハイスクリュー
タワー塗装
- ☆町営住宅外壁改修事業 ジュネスハウス 455㎡・ジュネスハウス 455㎡・ひまわり団地 1棟4戸

■国の個別経済危機対策事業

計画事業費：78,451千円

1. 環境対応

- ☆環境対応車による公用車更新事業 国の環境対応車普及促進対策費補助を活用した車齢13年超車で使用頻度の高い公用車4台の更新
(事業費6,190千円)

2. 地域活性化

- ☆道営土地改良事業 地域水田農業支援緊急整備事業「和寒中央地区」
(事業費314,000千円のうち 経営体育成基盤整備事業「和寒北地区」
地元負担分の52,620千円) かんがい排水事業「第1幹線地区」
畑地帯総合整備事業「菊野西地区」
- ☆学校ICT環境整備事業 国の学校情報通信技術環境整備事業費補助金（文科省：補助率50%）により、小中学校に地上デジタルテレビ、電子黒板、パソコンなどを整備

B & G 「海洋体験セミナー」の参加報告

平成21年8月2日から6日までの5日間、B & G「海洋体験セミナー」が沖縄県で行なわれ、本町から和寒小学校5年生の前鼻船斗くん、薄井左京くん、6年生の須藤実咲さんの3名が参加されました。参加者を代表して須藤実咲さんの感想をご紹介します。



題名 「沖縄で学んだこと」

和寒小学校6年 須藤実咲

私は、海洋体験セミナーで、沖縄に行きました。私が沖縄で一番学んだと思うのが、自然についてです。例えば、冬でも海水浴ができるということや、海洋生物がたくさんいるなどです。

沖縄では、日本で一番南に位置する都道府県で、1年中暖かい気候が特徴です。1年中暖かいのだったら私は今いる北海道の方が住みやすいと思います。あと、沖縄にはめずらしい生き物や植物があります。生き物は、ヤンバルクイナやハブ。植物ではヒルギやデイゴ、ハイビスカスなどです。ヤンバルクイナは天然記念物に指定されていて、ハブは毒を持ったヘビです。ハイビスカスは沖縄で1年中咲いているそうです。生き物は、ほかに、マングローブ観察で、ハクセイシオマネキが見られました。「シオマネキ」とは、「死を招く」のことだそうです。それに、海洋レクリエーションのシュノーケルでは、足がつくぐらいの深さにあるサンゴも見えました。黄色などのきれいなサンゴも見えました。これは、とても心に残りました。魚は思ったほど多くはなかったけど、よく見るとサンゴにかくれているそうです。

沖縄で、こんなにたくさんの自然が見れるなんて、思っていませんでした。それも、シオマネキやマングローブなどの北海道では見られないものばかりだったので、場所のちがいや、自然のすばらしいところを実感できて、海洋体験セミナーに行ってきたと思います。夏はすごく暑くてたくさん日焼けしたけど、機会があれば、また、沖縄に行きたいと思っています。

